

平成27年度 協働講座「協働劇場」アンケート回答

年齢(代)	性別	感想	評価	今後の活用	協働の課題	希望する講座
20	男	講師の方の話しが面白く、飽きなかった。 他団体、他課の方との良い交流にもなった。	良い	普段の業務、後輩の育成、少し内容を変えてレクとして。	助け合いの気持ち。	今回のような楽しめる内容。
30	男	楽しく時間をすごせた。	良い			
30	女	最初から最後まで楽しい講座でした。 体験してわかることがこれほど多いとは嬉しい驚きでした。	良い	全ての人間関係に役立つと思いました。	お互いどう思うか、感じるかを考えながら行動することが大切だと思いました。そのためには、コミュニケーションを密にとりたいと思います。	参加型だけど、一人が目立ちすぎない、今回のような講座がいいです。
40	女	楽しかったです。	良い	コミュニケーションの大切さがより良く解りました。	話をする事。	ワークショップはいいですね。
40	女	「協働の」というテーマからはずれていたのでは？特に後半の劇は職員対応の悪さが目につき、それについての話しになってしまった。まとめて講師がニューヨークの話をしたので協働意識について考えられたが、あれがなかったら、職員の窓口や市民対応研修になったと思う。	あまり良くない	前半のゲームは他のイベントなどでも使えると思った。	この内容で東村山の協働はまだこのレベルなのかと思った。早く市として何が協働で何が他協力なのかはっきりしてほしい。防犯パトロール所管が無いのに市民協働団体に防犯パトロールがのっていた気がするがおかしくないか？	
40	女	体を動かしてゆつたりとラクに参加しやすかった。役者の方が上手でした。	良い	客観的に見たときのお互いの関係態度をふりかえるきっかけに。	お互いを活かす姿勢。誰のための動き、誰のための市政かということに時々立ち返る事。市民を活かすことが、職員に課せられた仕事であることの共通認識。	
50	女	身につまされた。市民として。	まあまあ	ゲームが役に立ったと思う。 市役所対応については、質問する市民側としてもこのネット時代に何も調べず、電話もせずいきなり来て何かを得ようと思うのはいかなものかなと思う部分もありました。	何でも相談係として対応できる人や場はなかなか少ない。市長への手紙等の返事も市民への返事としては満足するものでなかったりしている。	今日のような内容。

平成27年度 協働講座「協働劇場」アンケート回答

年齢(代)	性別	感想	評価	今後の活用	協働の課題	希望する講座
60	男	市役所で働く方々とお話しができたのは良かったと思います。昔の市役所と違うなあと思ってはおりますが、時代と共に市民と向き合う姿勢が良くなってきていると感じています。	良い	市民の中にはクレイマーに近い人もおりますが、オールラウンドに対応すべく努力をして頂けるのではと思っています。セクショナリズムに捕われずセンサーを働かせて頂き、勉強してもらえると良いと思います。	市民と市役所は対等であり、互いに助け合うことが重要だと思います。市民はクレイマーではなく、常に協力者であるべきと考えていきたいと思っています。	基本的に役所の担当者とのコミュニケーションをはかることがポイントであると思います。
60	女	いろんな立場の人がいて、自分とは異なる意見を聞いて面白かった。市役所の人々の立場での意見も聞いたのは良かった。	良い	相手の立場に立つことで誤解や食い違いが無くなるのではないかと思います。自分の心の余裕も大事ですね。	同じ場所で同じ体験をすることはすごくいいと思います。上からではなく自分自身で感じる事が自分の身につくことと思いました。違ってやることは一緒ですものね。	いろんな人との交流があり、市の中で知り合いの顔がふえることができる場がほしいです。平日の日中だと参加できる人は限られてくるので日時を考慮してもらえるといいですね。子育て中の若い人にも来てほしいです。
60	女	コミュニケーションの形が時代と共に変わるように思います。良い刺激をいただきました。	良い	対応の悪かった市職員について「チク」するような事ができるかな・課内で。細かい事に見えている事も市民の方では「とんでもない」対応になってしまっている事もあるかもしれないですね。市民対応については課内・部内で話し合われると嬉しいかな。	新しく出てくる市民のニーズに敏感に、柔軟に対応していくと大きな事業になるかもしれませんね。	具体的な課題について実現されてきた市民協働の実例があればお話しを聞きたい。
60	女	コミュニケーションの大切さを知った。	良い	いろんな場面で相手の気持ちを常に考えて話をすることに活かせると思う。	やはり、コミュニケーションかな？	昨年、今回のようにゲーム方式で自然と身につく、考えさせる内容の講座は外では経験できないので結構頭の中にインプットされていて役に立つように思います。
60	女	自分自身の人との接し方、お話しを持って行き方等、とても勉強になりました。	良い	他人との対話。又、接し方。		
60	男	市の方と市民と仲良く話し、ゲームし、いろいろと考えることが出来て今後も協働して何かが出来ると思った。	良い	グループの中でのコミュニケーションに活かせる。	相互理解です。	特にありません。

平成27年度 協働講座「協働劇場」アンケート回答

年齢(代)	性別	感想	評価	今後の活用	協働の課題	希望する講座
60	男	遊びからの学びは良かった。	良い	職員と市民とのコミュニケーションが大事。	職員同士のコミュニケーションが大事。	前回、今回参加続ける事が大事。
60	男		良い			
70	男	何とも言えません。	まあまあ	人の話を聞くことが大切である。「問いに対して答えてやる」。	人の話を聞く対応の仕方、これは私のモットーとするところです。物事は聞くことから始まる。聞かないと一方通行になりかねない。	自分の中に山積みされているのであれもこれも。
70	男	三人チーム動くゲームでは、一人の案内が何を指示しているのか気が付くまで、時間がかかった。窓口の寸劇、分かり易く比較できた。	良い	人の集まり、どこでどんな時でも声掛けがの必要性を感じた。	いつもながら相手の立場を理解しようとする努力が必要。	昨年の加留部先生の講座、面白かった。
70	男	フランクに参加できた。	良い	協働作業(共同作業)や声かけ、思いやり等に一步踏み込んだ形で実施できそう。	積極的に社会に出ている人々から地域社会に参加できていない人々をいかに外へ出すかが課題。市民協働課の業務をもっと一般市民に理解してもらえるように！こんなに頑張っている為。	今回のようなフランクな気持ちで参加出来る企画を。
70	女	参加して良かったです。	良い	いまのままでいいです。		今のままで良いと思います。
85	男	前半、後半いずれも好調に進行して良かった。今までの交流の中で友人も多く参加されており、話し合いの中には同窓会のような雰囲気があり嬉しかった。	良い	「コミュニティ」「コミュニティー」よく団地(888世帯)に言われていたが、相手を知る、話す、ふれあう(掌の平をあわせて行動、仲間を互いに連れ合せて椅子取り(一寸違うかも))をしたり、これがコミュニティを作る源だと感じた。	市長は市民に何を求めるかではなく、市民は市に何をして応えるかを考えるべきである。(ケネディの就任演説の精神が必要)	
		リアルな状況を体験できたので、実感があつた。	良い	会議の打合せ等の時にコミュニケーションゲームを行うと良い。介護保険施設等で行ってみたい。	コミュニケーションツールとして毎日行うと効果が有るか？	コミュニケーションツールのケーススタディを数多く行うようなセミナーを期待しています。